

令和3年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業目的	事業概要	事業効果	事業の展開	構成人数		交付金要望額		補助年数 (年目)	審査 結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんな で協働型	一次	1	牛牧史学会	牛牧地区内の文化財 標柱の美化・保守事 業	牛牧区内には文化財標柱（20ヶ所）がありま すが、周辺の雑草が伸び標柱の存在またその説明文 が読み取れない状況です。 会員により草刈りを行い進入路の確保と標柱の美 化と保守を行う。これにより牛牧区民、高森町民 ひいては観光客に文化財を見てもらう環境づく りをします。	史学会員で次の2項を行う。 1. 刈払機による文化財訪中周辺の草刈り。 2. 進入路、標柱周辺の環境整備。	区民、子供が地域の文化財に関心を寄せ、地域を愛 する心が育つ。また観光客へのPRができ、関係人口 の増加につながる。	次年度以降も継続していきたい。	32	125,000		3	適正	
									2,000	75,000	50,000			
みんな で協働型	一次	2	下市田学校応援 隊	明治の建物下市田学 校を令和に活かす	昨年はコロナ禍で計画したものが実施不可 となり、代わりに実施できるものを企画して行っ た経緯があるが、今年はコロナが収まると想定 し、昨年度とほぼ同様の内容で推し進める。 高森町の古き良き文化遺産である下市田学校をよ り地域の皆さんに開かれたものに、皆が楽しく 集い色んなことを体験したり、活動できる場にし ていきたいと考えた。	夏休みには小学生を対象に親元を離れ、日頃の生活では体 験できない活動を通して視野を広げ、自らが動き仲間と協 力し合って活動することにより自主・自立の精神を養う集 団生活を行う。 秋には明治期の学校校舎を地域の方々により広く知って いただくと共に、目頃見聞することの少ない落語や寄席の雰 囲気を身近に味わっていただく機会にしたいと考え行 う。併せて地元作家の作品展も開催し、鑑賞していただく機会 にする。	価値ある資産を有効に活用し、世代間の垣根を越え て、豊かなひとりが過ごせ、町民の交流の場として の空間が提供できる。	下市田学校で行うことのできる可能性にこれからも 挑戦していきたい。さらに県内にある他の明治の学 校との連携を図って明治の学校サミット等を行うこ とも考えていきたい。そのためにこれらの活動を 支える応援隊員を広く募集して、より地域に密着し た取り組みをしていきたい。	17	134,000		3	適正	
									2,000	100,000	34,000			
みんな で協働型	一次	3	高森キッズサイ エンスクラブ支 援会	夢中になって自然と かわり、有用素材 を見つけ、活用する 子どもたちの育成	今、子どもたちは、生活や遊びの中で、本物の自然 体験をする機会が少なくなっている。そのため、 「言葉とその解釈は何となくわかるが、体験 や身体を通した実感としては、十分わかっていな い」という子どもたちが増えている。これでは、 自然にかかわる知識が十分活用できないばかり か、自然環境について未来永劫どうしていくか という考え方も育たない。そこで、高森キッズサイ エンスクラブ支援会では、夢中になって自然と かわり、有用素材を見つけ、活用する子どもたち の育成を目標に、各種イベントを開く。	コゴミ・タケノコ・ヨモギなどの採集と簡単な調理、竹の 皮の利用、自由研究のヒント、郷土料理をつくって試食、 ヨモギ餅つき、竹の活用、自由研究のヒント指南など。	自然にかかわる知識が、体験や身体を通して実感 としてわかり、自然環境について未来永劫どうして いくかという考え方ができるようにする。 自然の中で、役立つものを活用してきた先人の尊 い知恵を感動的に伝えることができるようになる。	地域の自然が活用できそうな素材を見つけ、展開し ていく。子ども達の希望により、過去に実施した チョウの幼虫探しやこん虫採集も再度取り入れるこ とがある。	15	125,000		3	適正	
									2,000	95,000	30,000			
みんな で協働型	一次	4	あじさいの会	地域コミュニティ支 援事業	身近なボランティア活動を中心に活動しながら、 よりよい地域づくりに力を出し合っていきたい。	・吉田ふれあい広場への協力 ・やすらぎ荘へのお手伝い ・災害時の後方支援（炊き出し・自衛団づくり等） ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症、安心カード 他） ・花畑の手入れ（苗づくり・植え付け・管理等） ・吉一サロンの実施協力（年3回） ・その他身近なボランティア活動（地区行事への支援・冬 季の雪かき等）	地域の人と人の関わりが希薄になっている今、 困っている高齢者世帯、一人暮らしの世帯に少 しでも手をさしのべ関わることを通して、声 がけのできる地域社会になり、自分たちも心豊かな生活が期待 できる。	ボランティア活動を通して、賛同する仲間を増やし 今まで続けてきた活動を長く継続していきたい。	25	96,000		3	適正	
									2,000	46,000	50,000			
みんな で協働型	一次	5	原ノ城址愛護会	原ノ城址愛護会活動 推進事業	平成17年5月20日に発足し現在に至っています。 当初の目的は原城跡地の保存をはかり地域住民の 憩いの場所として桜の木を植えてこの場所を史跡 跡地として管理し後世に残していく事を目的とし ています。	現在会員数は27名で年間おとして定期的に城跡地の除草作 業や植樹した桜の木の消毒等の管理をしています。又、2 年に一度、他史跡等に視察研修し会員同士の交流と親睦を 深め愛護会の活動を進めています。	城跡地の景観が保全され地域住民の憩いの場所 として活用できる。又、町内外者の観光客の方々にも史 跡地を含め楽しんでいただける。	会員を増やしこの史跡を大切に保存し出来る限り長く 継続していきたい。	27	85,000		2	適正	
									2,000	35,000	50,000			
みんな で協働型	一次	6	吉田史学会	よしたの郷史料集作 成事業	①吉田地区の歴史をまとめ、会員・地区民共有の 学習素材を整える。 ②成果品としてまとめることで、今後の調査研 究・学習促進のベースとして活用する。 ③歴史資料の散逸、喪失を食い止める。	吉田地区の歴史について、これまで会員が収集調査した史 料、まとめた成果等を編集活性化して集約し「よしたの郷 史料集」を制作。今後の学習資料として活用すると ともに、さらに新たな成果を盛り込んでいく。	各自が保持していた史料を一冊にまとめることで、 共有の学習素材となる。また、新たな成果をス トックしていくベースとなる。	今年度印刷データ化し、来年度印刷製本、地区内外 の関係者・団体に配布する。	25	150,000		1	適正	
									2,000	100,000	50,000			
みんな で協働型	一次	7	力行会地域づく り隊	地域の環境保全推進 事業	「自分たちの地域（とこ）は自分達で、つくる、 育てる、つなげる」を念頭に、地域内の景観保 全・地域課題、地域の活性化に取り組み、自分達 の住んでいる地域を次の代に伝えることを目的 に活動する。	①地区計画で事業採択されない水路の改修 ②手が入らない、山道などの点検と手入れ ③地域内の竹林整備及び植林等の景観保全 ④防災上危険な、江戸ヶ沢・間ヶ沢上流の点検 ⑤その他、地域内で提起された課題への取り組み	地域内の景観が保全され、生活道路や水路、山道が 整備される。	若年層の参加を促し、できる限り長く継続してい きたい。	21	120,000		1	適正	
									2,000	78,000	42,000			
みんな で協働型	一次	8	出原アジサイの 会	地域の環境・森林整 備及び観光資源造成 事業	出原区有林内（ハーモニックロード沿いの林 床）を整備すると共に、その林床にヤマアジサイ （20種類）を植樹して里山の景観を整える。ま た、区民（子どもたち）との共同作業を通して、 里山や郷土のもつ意味・価値の理解と住民間の協 働の楽しさを味わう。	①区有林内にあるアジサイ園の整備と造成を行う。 ②園内の遊歩道の設置並びに、その整備と新たな植樹活動 （苗作りと移植）を推進する。 ③千早原観光農園事業への寄与（新規観光資源づくり）を行 う。 ④育成会や子ども会とタイアップして、子どもや地域住民 （保護者）の愛郷精神の醸成を図る。	アジサイ園を公開することによって森林活用の一 方法を広めることになる。この成果は、将来の千早原 観光農園事業に付随する観光の目玉をつくること にもつながる。また、子どもとの協働作業を通して自然 愛護や愛郷精神が醸成できる。	昨年度、新型コロナウイルスでできなかった活動を引き継 ぎながら、組織拡大と次のステップである休憩所の 整備、案内板の設置等を進めたい。	16	129,000		3	適正	
									2,000	97,000	32,000			

令和3年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業目的	事業概要	事業効果	事業の展開	構成人数		交付金要望額		補助年数 (年目)	審査 結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんなで協働型	一次	9	地域応援隊	町内の新しいコミュニティの創造と地域作り支援事業	町内の一人暮らしの方、農地管理等ができなくなった高齢者等への支援を行うと共に、支援活動を通して町民同士の繋がりが作りを進める。 また、放棄農地の再生や独居老人の方々に対する支援を通して未来の町づくりに対する課題や展望を明らかにしながら、隊員自らが町政（町づくり）に関心をもち、	①農地管理（土手草・支障木除去、農地再生）への支援 ②地域環境保持への支援 ③独居老人への支援 ④その他	・支援活動を通して町民間並びに隊員同士の繋がりを強化できる。 ・農地の管理、再生を通して町の課題や展望を身近に感じられる。 ・新しいコミュニティ作りに向けたアイデアの発信ができる。	昨年度同様、支援活動を進めながらその都度、課題を明らかにして会運営を更新し、ゆくゆくは町内に支部的な組織や農地管理班、家庭支援班等、支援内容に合わせた組織作りを進めたい。それを実現するために今後、女性隊員や中・高校生隊員の加入も考えたい。	10	118,000		3	適正	
									2,000	98,000	20,000			
みんなで協働型	一次	10	出原健康体操教室	地区健康維持体操教室	60代から今の健康を維持して、元気で長生きできるように筋力をつけるセラバンド体操を行う。 またその中で、地区の情報を交換し合い、区内の様子を共有して、何かあった時に協力し合える仲間づくりをしていく。	60～70代8名が毎週日曜日に区民会館でセラバンドでの筋力アップ体操をしています。	健康に対する意識が強まり、積極的に参加して筋力をつけている。病院での検査結果にも数値に効果が出ている。	声掛けて仲間を増やしていきたい。	8	33,000		1	適正	
									2,000	17,000	16,000			
みんなで協働型	一次	11	大清水ほたる愛護会	ほたる生育環境保全事業	山吹上平の大清水地区には、半世紀前までは、6月下旬から7月上旬にかけて、数えきれないほどのゲンジボタルが乱舞していた。しかし、ここ十年ほどは、年間数匹しか見ることができない。そこで、かつてのようなホタルが飛び交う自然環境を取り戻し、後世に伝えていくことを目的として、この事業を行う。	・水路周辺の草刈り作業を実施する。 ・水路にたまった砂利や土をさらし、水の流れをよくしたり、小規模の遊水池を設けたりする。 ・カワナナの餌となるクレソンを植え、購入した餌を与えたりする。 ・水質調査を行う。 ・ドン・キホーテの営業に伴う、照明とホタルとの関係を調査する。	ホタルの生活環境が整えられ、餌となるカワナナが確保されることにより、ホタルの生育を守ることが可能になる。	継続して実施することで、成果が見られるだろう。一方で、極力除草剤を使わないことを近所に呼びかけ、水路に雑排水が混入しない様に注意深く見守っていききたい。	6	112,000		2	適正	
									2,000	100,000	12,000			
みんなで協働型	一次	12	原町五平餅の会	地域の食でふれあい事業	地区のイベントに五平餅を作って振る舞う。皆で楽しく五平餅を作り、住民に喜んで食べてもらう。会員の親睦を図る。	7月に開催予定の分館主催の「上市田納涼祭」にて五平餅を作り販売する。 会員の親睦をする。	地域で年代を問わず親睦が図れ、地域の皆さんも五平餅を楽しみにしている。	地域の食文化である五平餅の作り方、味を後世に伝えていきたい。	20	50,000		2	適正	
									2,000	10,000	40,000			
みんなで協働型	一次	13	高森町商工会名物料理研究委員会	高齢者、中学卒業生に食の楽しさを提供し笑顔を届ける事業	高森荘に暮らす高齢者等に、普段口にするのでできないアルプサーモン料理をプロの料理人が提供し、食べる楽しさを感じていただき、生活に潤いと笑顔を提供する。に、地元の名物料理であるアルプサーモンを食べていただき、自分の暮らす町には、誇れる食材がある事を認識してもらい、また卒業という節目の楽しさを感じていただきたい。	飲食店を営む高森町商工会で組織する「高森町商工会名物料理研究委員会」のメンバーが、ボランティアで、高森荘に暮らす高齢者等に、普段口にするのでできないアルプサーモン料理を調理し提供し、食べる楽しさを体験してもらおう。 中学校卒業生には、給食センターに入り調理等ができないため、原材料を会員がセンターで調理しやすい様にして届ける。また、地元の食材などを認識してもらうため、アルプサーモンの事・委員会の活動などをアビールし知ってもらう。	高森荘に暮らす高齢者等と高森中学校の卒業生が、アルプサーモン料理を通して、食べる楽しさを感じてもらい、生活に潤いと笑顔を手にすることができ、また、食を通じて会員相互の意思疎通を図ることができる。	「高森町商工会名物料理研究委員会」のメンバーを徐々に増やして、将来にわたって、高森町商工会、高森荘、学校給食センターの方と連携して、高森町に暮らす方々に食べる楽しさを通して、生活に潤いと笑顔を提供していく。	6	111,000		2	適正	
									2,000	99,000	12,000			
みんなで協働型	一次	14	高森文化ユニット	地域文化交流総合アートイベント	高森町民、出身者、関係者を中心として歴史文化への理解、関心を高め、伝承文化活動や文化創造・発展を促しつつ郷土への愛着を深め、地域の連携を目指す。また、町の魅力を広く発信し、高森町のファンを増やしていく。	高森町の歴史を語る上で避けられない松岡氏存在は、NHK大河ドラマゆかりの地として、全国に広がりを見せた。そうした松岡氏にまつわる様々な創造文化を地域興しに繋げる方法として、継続事業の音楽・画像を通して地域の魅力発信事業の実施。同時に、放浪の俳人「井上井月」の高森町の繋がりが学習会―松岡城址域内への句碑建立と活用に向けて―（時の駅：平成31年2月～継続中）～令和3年4月継続中を地域おこしに繋げる。	目的である、文化活動による地域の交流は効果的な繋がりを見せている。テーマの広がり、音楽参加者の質の向上などは今までのコンサート活動の成果である。今後は、町の魅力発信のための総合アートとしてジャンルの広がりや町のファン増大に期待ができる。	今後の継続に向けて、総合アートとしてジャンルの広がりを図る。	20	140,000		3	適正	
									2,000	100,000	40,000			
みんなで協働型	一次	15	千早原フラワーパートナーズ	千早原地域の環境保全及び美化推進	千早原地域の農業を維持、発展させるために観光農業に取り組み、この地域を訪れるお客さんを増やすことを目的に、拠点となるアグリ交流センター周辺の景観を保全し、花を栽植して美化する。景観を良くすることによりお客さんを増やし、農家とのコミュニケーションが生まれることにより、観光農業の推進に努める。	桜と効用を植栽してある、アグリ交流センター西の上段道路の土手の草刈りと施肥、道路わきに花を植えて景観を美化する。 アグリ交流センター周辺道路および駐車場へ花を植え、管理する。 大松青草鑑賞会、ミニコンサートを実施する。	草刈りや花を植えることにより、アグリ交流センター周辺の景観を良くして、この地域を訪れるお客さんを増やし、観光農業に結びつける。 千早原を訪れるお客さんが増える事により農家とのコミュニケーションが生まれ、地域が活性化する。 大松青草鑑賞会を開き町内外の人に景観美化の取り組みを紹介する。	アグリ交流センター周辺の景観美化により集客数を増やし、観光農業を推進し、地域活性化を図る。	23	146,000		3	適正	
									2,000	100,000	46,000			
みんなで協働型	一次	16	上平芸能クラブ	芸能活動による地域活性化事業	芸能活動を通して地域の皆様と交流を図り、明るく楽しい地域づくりに貢献すること。	①町内の行事やイベントへの参加。 ②演目の検討、ステージに向けての練習。	①地域行事に参加することで、地域の皆さんと交流が持てる。 ②活動を通して地域の皆さんに喜んでいただき、地域の良さ・楽しさを再発見していただく。	①私たちの活動を見ることで、多くの方が地域を盛り上げる活動に継続的に参加いただけるようにしたい。また、子供さんが地域行事に関心を持っていただくことで、いずれ地元に着ていただくきっかけとなるようにしたい。 ②活動をアビールすることで町外へも事業を展開し、いずれ高森町のPR活動の一端になれるような企画・活動ができることを目指します。	14	128,000		2	適正	
									2,000	100,000	28,000			

令和3年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業目的	事業概要	事業効果	事業の展開	構成人数		補助年数 (年目)	審査 結果
									単価	交付金要望額 活動支援金 継続支援金		
みんなで協働型	一次	17	チビッコ花広場 愛護委員会	チビッコ広場愛護事業	チビッコ花広場の快適な環境を創造し、人々が憩い、子どもが安全に楽しく遊べるように、地域の誇れる人と人の交流の場にする。	・一年を通じて花が見られるようにする。 ・子どもが安全に遊べるよう、ゴミ、危険物除去、砂場整備。 ・砂場の整備、雑草除去、安全な殺虫剤による虫刺され防止。 ・花の写真を持ってくださる方々が気分良く使ってもらえる環境を整える。 ・咲き終わった花の球根配布。	・親子で植物の観察ができ、こどもの植物に関する感覚が養われる。 ・きれいな花壇ができることにより、SNS等で発信され、町の新たな魅力となる。 ・子どもたちが遊びに来て、良い交流の場になる。 ・高森町民の環境意識の向上を高める。	GATVやSNS等を通じて活動を紹介し、ボランティアに取り組み人を作りたい。球根を増やしていき、苗費用をかけずとも自走できる形を作っていく。	15	112,000	2	適正
									2,000	82,000 30,000		
みんなで協働型	一次	18	牛牧クリーンウ ラスト(UCC)	地域の環境保全・美化推進事業	牛牧区の手つかずとなっている町道沿線や農業用水源地の雑草、蔭木を除去することにより、環境の保全、車両運行上の視界の確保及び農業用水の安定した供給に寄与するとともに、活動を通じて会員相互の親睦を図ることを目的とする。	地域の同じ志を持つ様々な年齢層が集団となって、草木が成長する6月から9月の4ヶ月に集中して町道沿線や水路の雑草・蔭木を刈払機、チェーンソー・ハンマーモアを使って除去する。	地域内の景観が保全されるとともに、車両運行上の視界と農業用水路のスムーズな流れを確保できる。	集会、常会において事業の趣旨を説明し、賛同する多くの区民を募り、長く継続できるよう考えて行く。	23	146,000	2	適正
									2,000	100,000 46,000		
みんなで協働型	一次	19	柿の里SC	地域住民の健康増進と知識と教養を身につける事業	自然体験や、文化活動、健康運動等を通じ、地域住民に知識や教養を身につけてもらい、健康増進の手助けをしていく。 合わせて参加者同士の親睦も深めてもらう。	イベントを企画し、準備・実行をする。 公民館、PTA等より依頼があれば、できる限り対応する。 ・リーダー研修会・親子レク・体力測定 ・ウォーターチューブアドベンチャー ・自然体験教室 ・柿の里ウォーキング(プラタカモリ)等	地域の自然や文化財の新たな発見や再確認ができ、多世代交流もでき、健康増進にもつながる。	コロナ対策をきちんとしながら、多世代交流が出来る行事として、継続して実施していく。	12	124,000	3	適正
									2,000	100,000 24,000		
みんなで経営型	一次	21	信州高森パノラ マビレッジ	パノラマ農園の資源を生かした地域の元気づくり	地域、農家、民間など多様な関係者の連携により、パノラマ農園の資源を活かしたコミュニティビジネスの第一歩を踏み出し、人が集まる元気な地域につなげることを目的とする。	①収穫体験、作業体験と農園観光受け入れのしくみづくり(インストラクター、PR、イベント)。 ②若い世代と協働する「景観ワークショップ」。 ③農園内の素材を用いた「パノラマビレッジ」ブランドの産品・りんごジュース加工と販売。 ④ホームページの運営管理、SNS情報発信。	・収穫体験だけでなく、作業を通じて技術を学べる機会をつくる。 ・景色を楽しめる「農園観光」や、景観をテーマにした若い世代とのワークショップを通じて、パノラマの景観を守り、PRすることが期待できる。 ・地権者、耕作者の皆さんにパノラマビレッジの事業に参画していただくきっかけができる。	コミュニティビジネスとして事業に参加する農園数を年々増やし、同時に将来の観光農園の受け入れ体制を整えていきたい。また、継続することにより、美しい農園が維持されることにつなげたい。	479,000	2	適正	
									2,000			479,000 0
まちと共創型	一次	22	丸山あったか育 みプロジェクト	丸山あったか育み事業	近隣する丸山公園やあったかからす帯を使い、子どもが花や緑や土にふれ、楽しく遊びながら学び場を造る。 作業等を通じて幅広い世代や仲間との交流を図り、子どもの育ちを地域で支援するとともに賑わいのある公園づくりを行う。 「高森中地域広域隊」を受け入れ、地域住民・子どもらと共に環境整備や作物栽培等を行うことにより、町づくりへの関心並びに子どもらの健全育成を図る。	公園やあったかからす周辺に、花や花壇など子どもと一緒に土いじりができる場所を造り、一緒に作業を行う。子どもが自然に興味を持ち、楽しく自然と触れ合えるような公園づくりの発想や提案をする。	子どもが自然に触れ楽しく学び育つ場づくりがされる。 あったかからすと丸山公園が連携することで、より相乗効果を発揮できる。 事業を通じ、施設と地域、子育て世代とその他の世代など、幅広い交流が生まれる。 ④中学生たちの町づくりへの関心が高まり健全育成が図られる。	賑わいのある公園づくりを町と連携し継続していきたい。	7	114,000	3	適正
									2,000	100,000 14,000		
まちと共創型	一次	23	伝えたい想い アオギリにたく して	次世代へ！平和をつ なぐ事業	丸山公園平和の丘には広島市や長崎市から寄贈された被爆樹木2世があります。高森町で「被爆アオギリ3世」を育てたりして、平和への思いを繋げていく。	町民と共に被爆樹木を中心に活動し、平和への思いを繋げていく。	町民と一緒に活動することにより、今後町民が自主的に平和活動を行う。	町民の仲間を増やし、長く継続して行く。	21	141,000	2	適正
									2,000	99,000 42,000		
まちと共創型	一次	24	柿の里コミュニ ティスクール	地域とともにある学校づくり事業	学校教育目標「より強く より豊かに生きる 市田の子ども」に向け、ふるさと高森で学び場として、地域を題材にした体験学習を行っている。その際に、地域の方を講師として招いて教えていただいたり、地域の方、施設との交流を行ったり、ご指導をいただいたりする中でふるさとを「ひと、もの、こと」の良さにふれ、ふるさと高森町を愛する心を育むことを目的とする。	・登下校見守り ・環境整備 ・読み聞かせ ・クラブ活動指導 ・栽培活動指導(米、大豆など) ・干し柿作り ・とうふ作り ・学習支援(習字、ミシンなど)	活動を重ねることに子どもたちが親近感をもって講師の方と関われるようになり、教えてくださる方への感謝の気持ちをもちつづけることができる。地域のボランティアにとっても学校を身近に感じていただくことができる。	町で整備していただいたボランティア名簿を活用しながら、地域に関わる活動をさらに展開していきたい。	25	150,000	2	適正
									2,000	100,000 50,000		
まちと共創型	一次	25	山吹ほたるの里 コミュニティス クール	特色ある学校づくり推進事業	保護者・地域住民・学校が連携・協力して「地域の子どもは、地域で育てる」という理念のもと、それぞれのニーズと願いを迅速かつ的確に把握して学校運営に反映させ、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むことを目的とする。	・高森町消防団第3分団参加による避難訓練 ・地域講師によるクラブ活動、ふれあい参観日の諸講座 ・学習支援 ・読み聞かせ ・やすらぎ荘、保育園 等	地域の方々の支援、交流をととして、児童が自分たちの住む地域を知ると共に、地域を愛する心構を育成できる。また、地域の方々と学校との協同をさらに推し進めることができる。	ボランティアをはじめとする協力者を増やし、できる限り長く継続していきたい。	25	150,000	2	適正
									2,000	100,000 50,000		
まちと共創型	一次	26	小原ヶ丘コミュ ニティスクール	特色ある学校づくり推進事業	各教科・総合的な学習の時間などの学習支援や環境整備、読み聞かせ、登下校安全確保、体験活動等において、ボランティアによる学校支援を通して、学校・保護者・町民がつながり子どもたちを支え、特色ある学校づくりを目指すことを目的とする。	1. 各教科・総合的な学習の時間などの学習支援 2. 学校花壇や学校周辺の草刈りなどの環境整備 3. 読書週間における読み聞かせ 4. 登下校における安全確保 5. 体験活動などにおける外部講師の講話など	・地域の方々の専門性や地域の力を生かした様々な支援により、学校教育活動が充実し、子どもたちに多様な経験や学びを積ませることが出来る。 ・互いに顔がわかる関係が築かれ、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりが構築できる。	体制づくりを進め、支援が継続していくようにしたい。	25	150,000	2	適正
									2,000	100,000 50,000		

申請額合計 3,368,000 円